

新潟県

Niigata Construction Technology Center

2021 夏号

建設技術センターだより

市町村紹介コーナー

津南町

[中越エリア]

CONTENTS

■特集

- 02 市町村紹介コーナー
津南町
- 04 発注者支援事業紹介
- 05 新潟県建設技術センター
組織改編について

■センターINDEX

- 06 新採用職員紹介
- 07 雪のことば・雪のころ
- 08 編集後記

08 新潟の地酒巡り

苗場酒造

日本屈指の豪雪地で、日本酒
ならではの旨味ある地酒を



一般財団法人

新潟県建設技術センター

<http://www.niigata-ctc.or.jp/>

〒950-1101 新潟市西区山田2522-18 TEL.025-267-4804 FAX.025-267-4854

☎0120-733-308



津南町

Tsunan



津南町のプロフィール

面積／170.21km²

人口／9,190人(令和3年4月1日現在)

世帯数／3,479世帯(同上)

役場／〒949-8292

津南町大字下船渡戊585番地

TEL. 025-765-3111

FAX. 025-765-4625

<https://www.town.tsunan.niigata.jp/>



津南町はこんなところ

津南町は新潟県の最南端にあって、長野県と県境を接しています。町の南西から北東に流れる信濃川と、これに合流する志久見川・中津川・清津川の河川に沿って、雄大な河岸段丘が形成されています。基幹産業は農業で、段丘上に広がる広大な農地で魚沼産コシヒカリ・アスパラガス・スイートコーン・雪下にんじんなどが生産されています。



\ pick up! /

津南の雪下にんじん

雪下にんじんの歴史

きっかけは1983年。秋にんじんの出荷時期である11月に突然の大雪に見舞われ、収穫できないまま積雪下となってしまいました。それでも、春を迎え雪の下から掘り起こして食べてみたことが始まりです。

臭みが無く、甘く感じられる雪下にんじんの品質特性は1996年から1999年にかけて、新潟県高冷地農業技術センター等で研究され、2000年に研究成果が発表されました。



「雪下にんじん」の名のとおり雪の下から掘り起こされます



「つなホン」(*)も雪下にんじんを紹介してくれています
※シャープのスマートロボット「RoBoHoN」。津南町では「つなホン」と呼んでいます

雪下にんじんの生産地

内陸高冷地という地理的特徴から、ほかのにんじんの産地に比べ、冷涼で昼夜の気温差が大きく、にんじんの肥大時期である9～10月においては、最高と最低の寒暖の差は8℃以上と大きいです。また11月の最低気温は11℃と低く、他の産地に比べ秋の冷え込みが早いいため、積雪前に十分な糖度を得られます。

全国的にも屈指の豪雪地帯であり、積雪期間は12月中旬から4月下旬であり、1月から3月の最深積雪は2～3mで推移し、雪下にんじんの収穫を始める3月下旬にも約2mの積雪があります。3月上旬から畑の除雪を進め、畑の消雪直後から手作業で収穫を始め、食味や品質を維持するため、地温が上がらないうちに収穫を終えます。

\ Topics! /

雪下にんじんのGI(地理的表示)登録

地域の伝統的な生産方法や気候・風土・土壌などの生産地等の特性が、品質等の特性に結びついている産品の名称を知的財産として登録し、保護する制度が「地理的表示保護制度」です。

津南町で生産されている雪下にんじんは、「津南の雪下にんじん」として地理的表示(GI)に登録されています。

登録された基準を満たす産品にのみ地理的表示が使用でき、他の産地との差別化が可能となることで産品のブランド価値を守ることができます。



「津南の雪下にんじん」の名称でGI登録されています



一級河川信濃川災害復旧工事

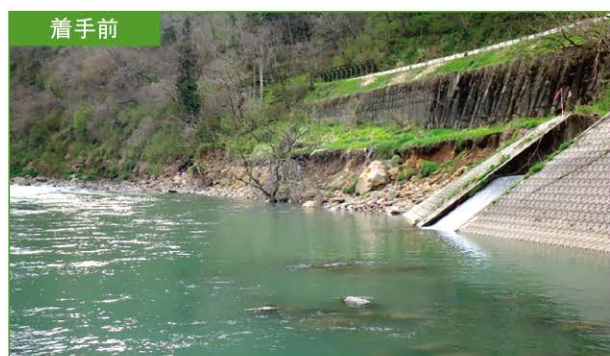
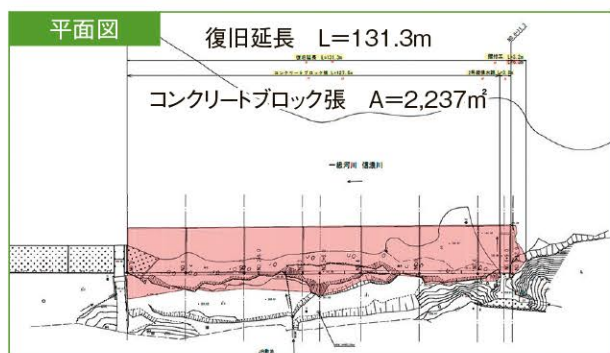
工事概要

令和元年10月の東日本台風により、千曲川・信濃川流域において甚大な河川災害が発生しました。信濃川流域では既往最高水位が観測され、沿川では各所で越水し、浸水被害が起こり、十日町管内においては河川災害で、53箇所の被災を受けました。

信濃川では、13箇所(L=3.3km)が被災し、その中のひとつである当箇所は、津南町上郷上田地内左岸において、延長約130mにわたって被災した護岸を復旧する工事でした。

工事内容

- 工事名**／ 令和元年度 31災河 第0088-00-00-00号
一級河川信濃川1災河川災害復旧(88号)工事
- 工期**／ 令和2年3月～令和3年3月
- 発注者**／ 新潟県 十日町地域振興局 地域整備部 治水課
- 工事内容**／ 復旧延長 L=131.3m
ブロック張工 A=2,237㎡



現場技術員 から一言

管理技術者 近 克典

当工事は上郷上田地左岸に大型平張ブロックを施工する工事でした。

工事期間中には河川の増水により、締切盛土が流失するなど受注者の苦労もありましたが、適宜発注者、受注者と綿密に打合せを行い、円滑に施工管理を行うことで無事竣工を迎えることができました。

信濃川では災害復旧等関連緊急事業等により河川改修が計画されています。今後も発注者支援業務を通して地域の安全・安心と、地域社会の発展に貢献していきたいと思います。

4月からセンターの 組織が変わりました



センターの効果的な事業運営を着実に推進していくため、組織の見直しを行いました。
変更のあった部署は下記のとおりです。

部	課	係	主な業務
総務部	総務課	庶務係	評議員会、理事会、給与、福利厚生、旅費、車輛管理
		経理係	予算、決算、収入支出事務、資産管理
		契約係	入札、契約
企画調査部	企画調整課	企画調整係	研究助成、新技術普及活用運営補助、事業の企画開発
	調査研修課	調査管理係	積算システム、橋梁長寿命化修繕計画支援、 道路台帳補正審査
		研修係	各種セミナー、出前講座、ものづくり体験教室
試験部	試験課	試験係	材料試験 (アスファルト、コンクリート、鋼材、土質、骨材ほか)
技術検査部	技術検査室		工事検査支援、照査、建築工事積算・監理、 総合評価入札方式支援
	市町村相談室		市町村相談
	技術指導室		技術系職員の教育・指導
技術部	技術第1課	技術第1係	新潟県一般土木受託業務
		技術第2係	
	技術第2課	技術第1係	市町村一般土木受託業務
		技術第2係	下水道受託業務

主な改正点

総務部 受託業務に係る契約及び関連する事務の効率・一元化を図るため、契約係を新設しました。

企画調査部 喫緊の課題や重点施策への対応を迅速的確に行うため、情報管理部を企画調査部に改組し、2課3係体制としました。

試験部 試験事業の効率実施を図るため、2係制を廃止し、試験係に統合しました。

技術検査部 技術系職員の育成強化を図ることを目的に、技術指導室を設置しました。

よろしく
お願いします!

NEW FACE

新採用職員紹介

総務部 総務課 庶務係 山田 瑞希

【趣味】スイーツづくり、
サッカー観戦
【特技】ダンス

信用・信頼される職員にな
れるよう、1つ1つの業務を
丁寧かつ迅速に取り組ん
でいきたいと思います。



上越支所・業務課 新部 夏希

【趣味】音楽を聴くこと
【特技】バレーボール

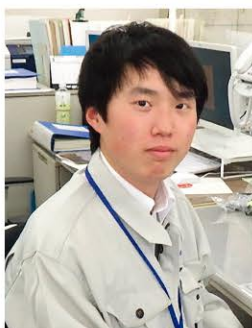
まだまだ分からないことが多
く勉強の毎日ですが、信用・
信頼される社員になれるよ
う日々努力してまいります。



技術部 技術第1課 技術第1係 山口 智也

【趣味】音楽鑑賞
【特技】空手

センターの職員として信頼
される技術者になれるよう
頑張っていきたいと思いま
す。どうぞよろしくお願い致
します。



技術部 技術第1課 技術第1係 片岡 賢汰

【趣味】テニス
【特技】プログラミング

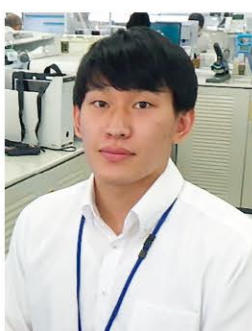
毎日が勉強であり覚えるべ
きことを一つずつしっかりと
身につけていき信頼される
技術者を目指し精進します。



技術部 技術第2課 技術第1係 原 太起

【趣味】バイク、トレーニング
【特技】柔道

慣れないことばかりですが、
センター職員として信用・信
頼される一人前の技術者
になれるよう精進いたしま
す。どうぞよろしくお願い致
します。



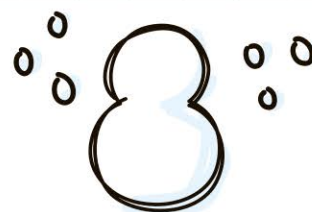
技術部 技術第2課 技術第2係 徳永 優斗

【趣味】ドライブ、スノーボー
【特技】料理

覚えることが多くありますが、
一日も早く新潟県の土
木事業に貢献できるよう、
日々精進致します。



雪のことは・雪のころ



2020年～21年の大雪災害(その2)

国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 上石 勲

前回に続いて、今冬は、2020年～21冬期にかけての新潟県内での大雪の状況です。

(1) 幹線道路の渋滞。

2020年12月15日～17日に新潟県内の魚沼市～南魚沼市の関越道で2000台以上の車が滞留し、50時間以上の通行止めとなりました。

この時、たまたま、現地に居合わせて、現場の状況を記録した南魚沼市の町田建設さんから貴重な写真を提供いただきました。図1は上空から見た状況で、車列が連続的に渋滞していることがわかります。図2からは、車体が渋滞となった後の大量の降雪で埋もれている状況が見て取れます。雪に埋もれたこれらの車を1台1台除雪しながら誘導するという作業となったようで、解除に時間がかかったのは、このためかと思われます。

(2) 海岸部の大雪による被害

2021年1月7日～11日には、新潟県上越地方の海岸平野部を中心に大雪となりました。上越市直江津地区は同じ上越市内でも高田地区にくらべ雪の少ないところです。しかし、今回は、大量の雪のため狭隘道路で道路除雪が進まず、長期間の通行止めとなりました(図3)。大量の降雪のため、自宅駐車場から車が出ない状況が多く個所で見られました(図4)。自宅だけでなく、勤め先の駐車スペースの確保も大変だったようです。また、家の雪おろしの業者もすぐに対応できず、高齢者世帯が不安な毎日を過ごすことになったとのことでした。

(3) 今回の大雪の教訓と課題

今回の大雪は集中的な降雪が原因となっている。いろいろな機関で実施された対応、うまくいったことも含め、大雪の記録をデータとして活用できるように残し、今後に役立てることが、高齢化が進む社会において重要かと考えます。



図1 関越道の渋滞(南魚沼市:町田建設撮影)



図2 関越道大雪による滞留(南魚沼市:町田建設撮影)



図3 狭隘道路の除雪(上越市直江津)



図4 駐車場から出せない車(上越市直江津)

新潟の地酒巡り

全国的にも評価が高い新潟の清酒。
そのおいしさの秘密を紹介します。

津南町の酒蔵

苗場酒造

日本屈指の豪雪地で、日本酒ならではの
旨味ある地酒を

日本酒文化の継承と創造をテーマに、新たな
取り組みにチャレンジしております。

日本酒が大好きな方はもちろん、日本酒が苦
手な方、初めて日本酒を飲む若い方や海外の
方にも喜んでいただける日本酒を目指し、
日々励んでまいります。



代表取締役社長
新保 光栄



- 1.『純米大吟醸 醸す森』巨峰やパイナップルのような甘い香りと、ヨーグルトのような酸味がキュッときいている純米大吟醸。お猪口で飲むとより甘く感じられ、ワイングラスで飲むとフルーティーな香りと輝きのある甘味を楽しめる。
- 2.『純米吟醸 醸す森』フレッシュでジューシーなテイスト。洋梨やライチを思わせる甘い香りと、強めの酸味がキュッと後味を引き締める。食前酒にぴったりなお酒だが、味が濃い目の洋食やスイーツによく合う。
- 3.『純米吟醸 猫場山』苗場山の「苗」にけものへんで「猫」という字になることから、洒落を込めて猫好きが愛猫と戯れながら飲むお酒をコンセプトに販売開始。口当たりよく、香りが穏やかなお酒でどんな料理にも合う。

苗場山からの恵み、清らかな伏流水

明治40年9月23日創業。環境省の名水百選に選ばれた「龍ヶ窪」のある津南町で、日本百名山「苗場山」の伏流水を仕込み水とし、以後100年以上地元で飲み愛されている地酒蔵です。以前の社名は「瀧澤酒造」でしたが、平成26年9月に「苗場酒造」に商号変更いたしました。同じ頃、代表銘柄である「苗場山」のロゴも一新。十日町出身の書芸家・平野 壮弦様よりいろいろなシチュエーションで書かれた36通りもの書をいただき、社員一同で悩みに悩み現在のロゴに決定いたしました。同年に社屋の改修も行い、1階に当蔵で醸した全商品をはじめ、苗場山に漬込んだ珍味や苗場山のロゴ入りグッズを販売する蔵元直営売店も営業しております。

また、地域の活性化に貢献できるよう、津南町の旅館組合や飲食店、近隣ホテルとのタイアップ商品等の販売や、コロナ禍により昨年より中止しておりますが、年4回の蔵祭りも行っており近隣住民やお得意様より大変喜ばれております。

現在、新たな取り組みとして一段仕込みの製造を行っております。通常日本酒は三段で仕込みますが、一段仕込みはコストもかかり、一回の作業で味が決まってしまうため、繊細な作業が求められます。こちらのお酒は日本三大薬湯の松之山温泉「酒の宿 玉城屋」のオーナーであり、日本酒ソムリエの山岸様より監修いただき、「醸す森」というブランドで販売しております。山岸様の経営されるバル&ホテルの名前が「醸す森」。コンセプトは「あなたを醸す」、「お米と麹や酵母が会ってお酒が生まれるように、ひとやお酒や風土と出会ってあなたの中になにかが生まれる場所でありたい」。是非、「醸す森」を飲んで、日本酒の新しい思いやイメージを感じていただければと思います。

今後も日本屈指の豪雪地で、日本酒ならではの旨味ある飲み飽きしない地酒を醸してまいります。



苗場酒造株式会社

〒949-8201 新潟県中魚沼郡津南町下船渡戊555
TEL. 025-765-2011 FAX.025-765-5100
<http://www.naebasan.com/>

夏の暑さが本格的になってまいりました。体調には留意して日々をお過ごしください。

今回の夏号では、津南町様より市町村紹介コーナー、そして苗場酒造株式会社様より新潟の地酒巡りの特集をご寄稿いただきました。ご協力くださいました皆様に厚くお礼申し上げます。

また、新採用職員紹介や当センターの組織改編に関する記事も掲載しております。

今後も皆様に当センターの様々な情報を発信していきたいと思っておりますので、何かお気づきの点がございましたらお気軽にご意見等お寄せいただけますと幸いです。今後もご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。